

学年・組・コース	科目	身につけてほしいこと
2年1・2組選択者	日本史A	①時間割りに沿って学習を行い、家庭学習習慣を身に付ける。 ②近現代史(幕末)の時代の流れを把握できるようになる。

【学習計画】

授業回	月日限	学習項目	学習内容	評価方法	参考
第1回	5月11日4限	日本のあゆみをふりかえろう① ・日本の成り立ち ・古代の日本	教科書10～12ページ15行目までを読み、ワークノートの2ページの「日本の成り立ち」と「古代の日本」についての問題を解き、丸付けをする。	課題の提出、中身	
第2回	5月13日2限	日本のあゆみをふりかえろう② ・中世の日本 ・近世の日本	教科書12ページ16行目～15ページまでを読み、ワークノートの2ページの「中世の日本」と「近世の日本」についての問題を解き、丸付けをする。	課題の提出、中身	
第3回	5月20日2限	第1節近代への胎動 1. せまってくる外国船①	教科書24～25ページを読み、ノートに内容をまとめる。	課題の提出、中身	
第4回	5月20日7限	第1節近代への胎動 1. せまってくる外国船②	教科書とまとめた内容をもとに、ワークノート4～5ページの「せまってくる外国船」の穴埋めと問題を解き、丸付けをする。	課題の提出、中身	
第5回	5月25日4限	第1節近代への胎動 2. ちからを蓄える庶民①	教科書26～27ページを読み、ノートに内容をまとめる。	課題の提出、中身	
第6回	5月27日2限	第1節近代への胎動 2. ちからを蓄える庶民②	教科書とまとめた内容をもとに、ワークノート6～7ページの「ちからを蓄える庶民」の穴埋めと問題を解き、丸付けをする。	課題の提出、中身	
第7回	5月 日 限				
第8回	5月 日 限				
第9回	5月 日 限				
第10回	5月 日 限				

評価基準	A	・期限内に提出している(休校明けの最初の授業時に提出) ・内容を丁寧にまとめてあり、ワークノートの丸付けまでしている
	B	・期限内に提出している(休校明けの最初の授業時に提出) ・内容、ワークノートともに多少の不備がある
	C	・期限内に提出できず、遅れて出した ・内容、ワークノートともに仕上っている
	D	・未提出